



2023年(令和5年)12月11日

大広、Veeva Japan とコンテンツパートナー契約を締結 製薬企業の CRM 支援を強化

株式会社 大広(本社:東京都港区、代表取締役社長:泉恭雄、以下「大広」)は、製薬企業に特化したクラウドベースの CRM(顧客情報管理)システム『Veeva CRM』を提供する Veeva Japan 株式会社(本社:東京都渋谷区、日本法人代表取締役:Sebastian Bather)と、コンテンツパートナー契約を締結したことをお知らせします。



製薬企業の MR 活動は、昨今の社会状況の変化によって、MR 活動におけるデジタルトランスフォーメーションを加速させており、多くの企業がその解決策の一つとして『Veeva CRM』を導入しています。

一方で、MR 活動のデジタルトランスフォーメーションを加速させるには、高度な CRM 戦略を構築し、それに基づいた『Veeva CRM』の有効活用の推進が不可欠となります。

大広は、CRM の重要性が極めて高いダイレクトマーケティング領域において 40 年以上の実績を持っており、これまでに数多くの企業の CRM 活動を支援してきました。CRM 領域の専門性を活かし、『Veeva CRM』における分析・戦略構築・コンテンツ制作を支援することで、システムのさらなる有効活用につなげ、製薬企業の MR 活動に貢献してまいります。

また、Veeva Japan とのコンテンツパートナー契約の締結を機に、今後、製薬企業の MR 活動の更なる活性化に向けた新たなソリューションを開発してまいります。



【参考資料】

【Veeva Systems 社について】

Veeva Systems 社はライフサイエンス企業向けにクラウドベースのソフトウェアを提供するグローバルリーディングカンパニーです。世界最大規模の製薬企業からバイオテクノロジー分野の新興企業まで 1,000 社を超える顧客に、技術革新への取り組みや卓越した製品力によって、お客様の成功にコミットする様々なサービスを提供しています。パブリック・ベネフィット・コーポレーション企業として Veeva は、お客様や従業員、提携企業、株主、サービス提供業界を含むすべてのステークホルダーの利益バランスを保つことにコミットします。

【Veeva Japan 株式会社について】

Veeva Japan 株式会社は、Veeva Systems 社の日本法人です。日本市場においては、内資系外資系製薬企業 70 社以上の顧客企業を擁し、日本市場に特有のニーズにお応えする製品の開発含め、多くのパートナー企業と共にお客様の成功に貢献しています。

詳しくは、<https://veeva.com/jp/>をご覧ください。

【Veeva CRM について】

Veeva CRM は、ライフサイエンス企業向けの実績あるマルチチャネル CRM ソリューションとして、コマーシャル上のベストプラクティスが組み込まれており、複雑なタスクを簡略化し、リアルタイムのコミュニケーションによりカスタマーエクスペリエンスを向上させます。また、プライマリーケアやスペシャリティーケアの営業、MSL(メディカル・サイエンス・リエゾン)、管理市場のアカウントマネージャーなどのチームをサポートし、医療従事者とのエンゲージメントを確立します。

詳しくは、<https://www.veeva.com/jp/products/multichannel-crm/crm/>をご覧ください。

【株式会社 大広】

業界 2 位の博報堂 DY グループ傘下の総合広告会社。40 年以上にわたるダイレクトマーケティングの実績を活かし、顧客が賛同する「顧客価値」を中心に据え、新規獲得だけでなく CRM までフルファネルのコミュニケーションサポートを行います。

URL:<https://www.daiko.co.jp>